

モデル事業等の現状報告

平成28年1月14日（木）

山口県

コンパクトなまちづくりの実現に向けた取組

- 1 モデル地区の取組
- 2 主要駅の拠点性・交通結節点機能強化
- 3 立地適正化計画等の取組

1 モデル地区の取組

山陽小野田市 【厚狭駅周辺】 (土地活用タイプ)

J R厚狭駅南側の土地区画整理事業完了後の低未利用地において、民間活力を活用し、再生可能エネルギーを有効に活用した「スマートタウン」の実現や、「コーポラティブ方式」を導入し、子育て世代と高齢者が世代を超えて良好なコミュニティの形成する住み良い地域づくりを目指す。

また、駅北側において、山陽総合事務所、公民館、図書館などの公共施設の再編を計画しており、駅の南北で都市機能を分担しつつ、一体性のある都市拠点の形成を図る。



光市 【岩田駅周辺】 (再構築タイプ)

J R岩田駅東側において、光市役所大和支所、公民館、図書館などの集約化を図り、交流の場を確保するとともに、郊外にある市営住宅を本地区に移転建替を行うことにより、高齢者や子育て世代など、幅広い世代のコミュニティ活動の推進を図る。また、地区内の道路をはじめとする基盤整備を進めることにより、高齢者をはじめ誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを行う。

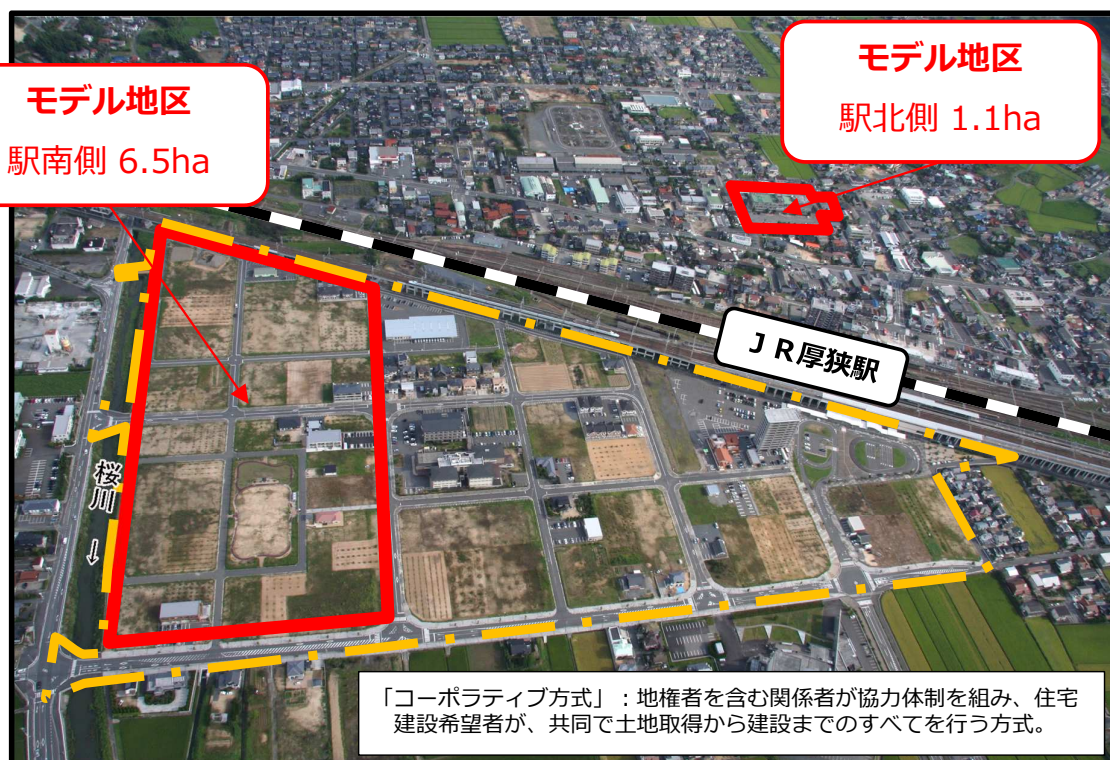
柳井市 【柳井駅周辺】 (集約拠点タイプ)

J R柳井駅南側の工場跡地において、再生可能エネルギーを活用し、防災公園を核として、災害時に支援体制がとれる「安全に安心して暮らせるまちづくり」を行うとともに、子育て世代が安心して暮らせるための施設の整備や、高齢者が近隣の医療施設等へ容易に移動するための道路整備や循環バス導入など、「全ての世代に優しいまちづくり」を行い、「三世代交流」の地域コミュニティによる「歩いて暮らすことができ、災害に強いコンパクトなまち」の形成を図る。

2

(1) 厚狭駅周辺地区

○**地域の将来像** 豊かな自然と長い歴史に抱かれた個性と魅力があふれるまち



「コーポラティブ方式」：地権者を含む関係者が協力体制を組み、住宅建設希望者が、共同で土地取得から建設までのすべてを行う方式。

3

取組状況

○厚狹駅北側

- ・複合型施設(総合事務所、図書館、公民館)の整備



○厚狹駅南側

- ・コーポラティブ方式の住宅の導入に向けた検討
- ・スマートタウンの実現に向けた検討

4

(2) 岩田駅周辺地区

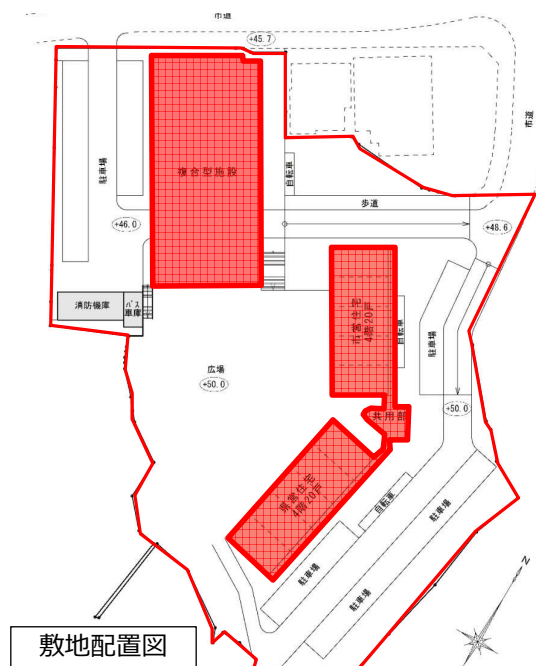
○基本的な方向 誰もが安心して住み続けられる、快適で便利なまちづくり



5

取組状況

- ・ 複合型施設(支所、図書館、公民館)の整備
- ・ 公営(県営・市営)住宅の整備



※現時点での計画を示した図であり、今後の詳細な検討により変更となる場合があります。



複合型施設・公営住宅整備周辺状況



大和複合型施設等検討市民会議

(3) 柳井駅周辺地区

○基本理念 住み続けたいと思える「柳井らしい」まち

～今あるまちとつながり みんなの笑顔があふれる 歩いて暮らせるまち～



今後の取組について

○モデル地区

- ▼取組事業者への働きかけ
- ▼基本協定の締結（市 - 取組事業者）
- ▼土地売買（土地所有者 - 取組事業者）
- ▼基本計画・事業計画の作成（取組事業者 - 市）
- ▼地区計画等による都市計画上の手續
- ▼事業着手

○立地適正化計画の策定に向けた検討

- ▼居住誘導区域、都市機能誘導区域の検討

8

2 主要駅の拠点性・交通結節点機能強化

下関駅



J R 下関駅ビル



シネマコンプレックス



下関駅東西連絡通路



次世代育成支援拠点施設

9

新山口駅



自由通路・橋上駅舎
(H27.10.3 供用開始)

徳山駅



現駅ビル解体状況
(H30年度 新駅ビル開館予定)

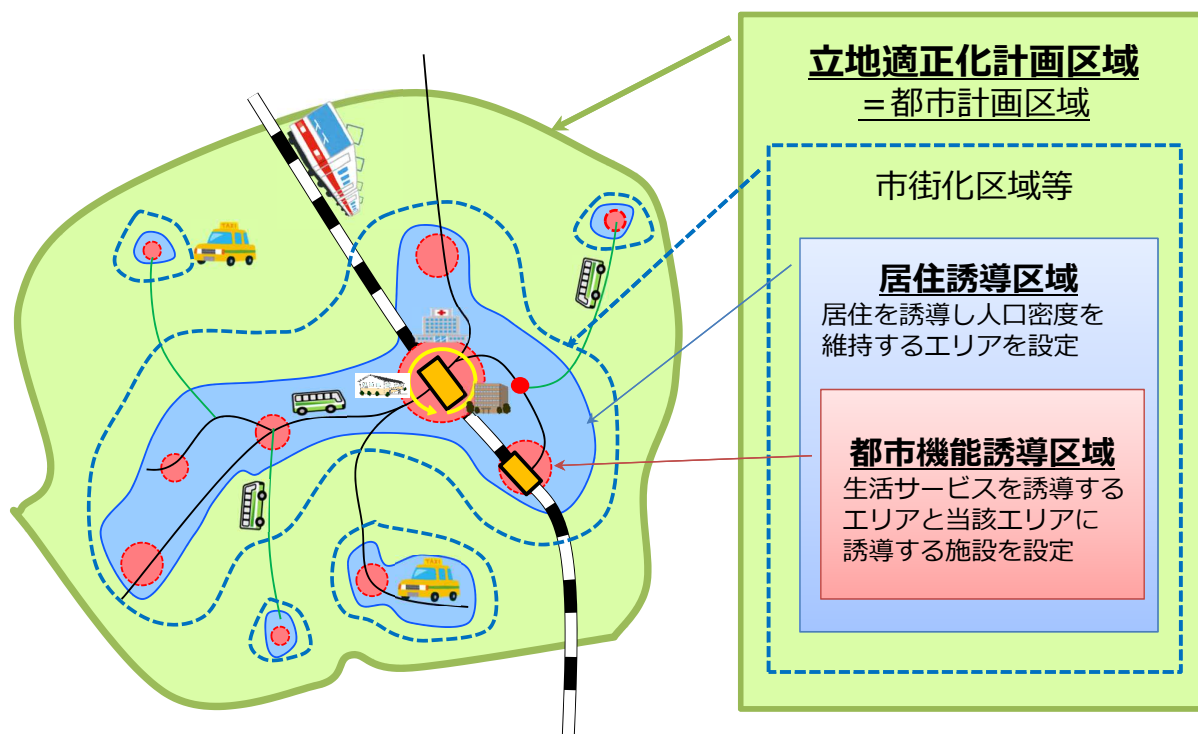
岩国駅



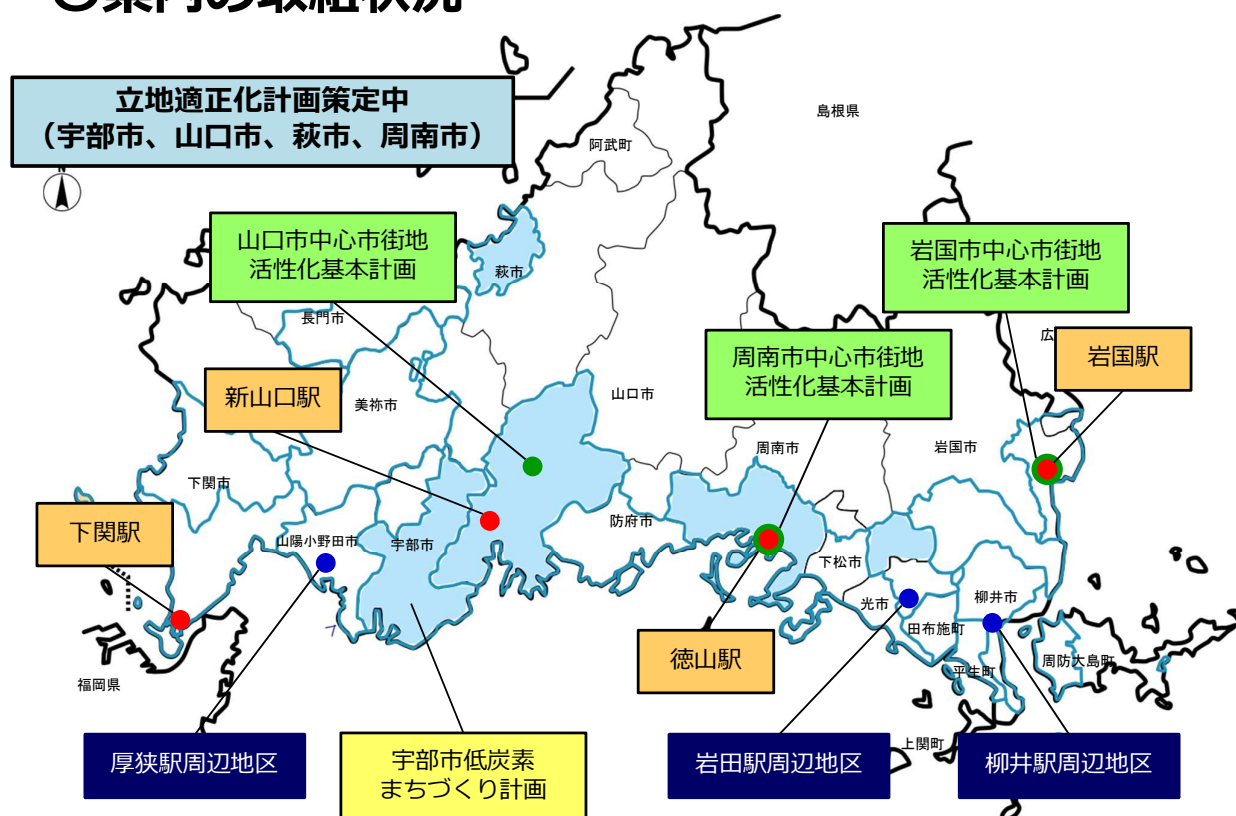
自由通路・橋上駅舎
安全祈願祭
(H29年度 供用開始予定)

3 立地適正化計画等の取組

○立地適正化計画のイメージ



○県内の取組状況



12

○今後の方向性

H25.5創設

コンパクトなまち
づくりモデル事業

中心市街地
活性化等

主要駅の拠点性・
交通結節点機能強化

立地適正化計画 H26.8施行

コンパクトなまち
づくりモデル事業

中心市街地
活性化等

主要駅の拠点性・
交通結節点機能強化

13